

201002 関東～東海のデータについて

昨日（10月1日）は暦で中秋の名月で 東京でも大変きれいな大きな月を見ることができました。しかし実際の月齢では今日（10月2日）が満月であり、秋のきれいな月見とは裏腹にこの前後の数日は地震の発生しやすい、いわゆる満月トリガーの期間になり注意が必要です。関東地方の地震の予測について9月30日に配信した逆ラジオ通信 No.37W-200930 日号では以下のように言っています（抜粋）。

>><関東地方> ~~~~~

●【センター】【六本木】【市川】【練馬】【文京】【前橋】【日光】のデータが 3ヶ月程度の山を作って減衰し、これが終わったところで関東の直下型地震の発生が考えられます。

●【世田谷】8/5の一本立ちが出たまま地震は発生しておらず引き続き注意が必要。

●長期に亘った【八王子】のデータはまだ収束傾向になっていません。

※三浦半島では毎月4回に渡って異臭騒ぎが起こり原因不明。関東大震災の前にも異臭が起こった。三浦半島の断層から異臭の原因のガスが発生している可能性があります。

>>~~~~~

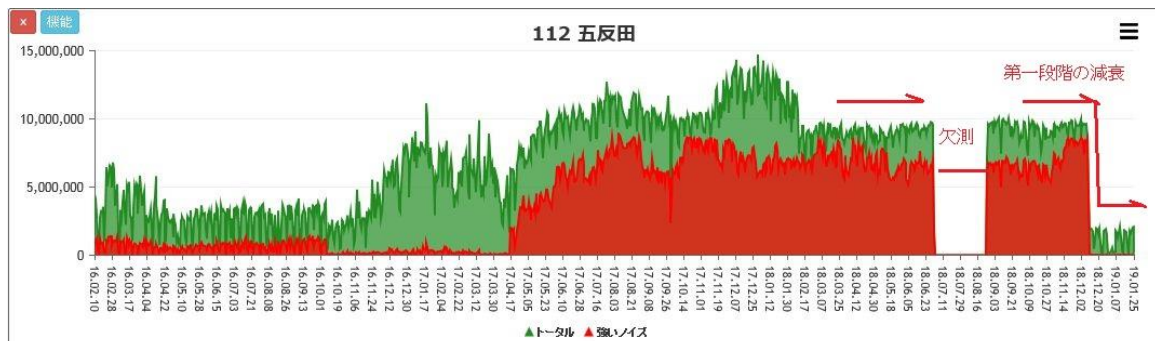
このような複数の前兆が重なって起きる場合は注意が必要ですが 現状で 関東～中部東海地区で大地震の可能性はあるか、以下の通り、いくつかの観測点の1080日間（3年間）のデータを中心に検証してみます。

① 五反田のデータの経過について

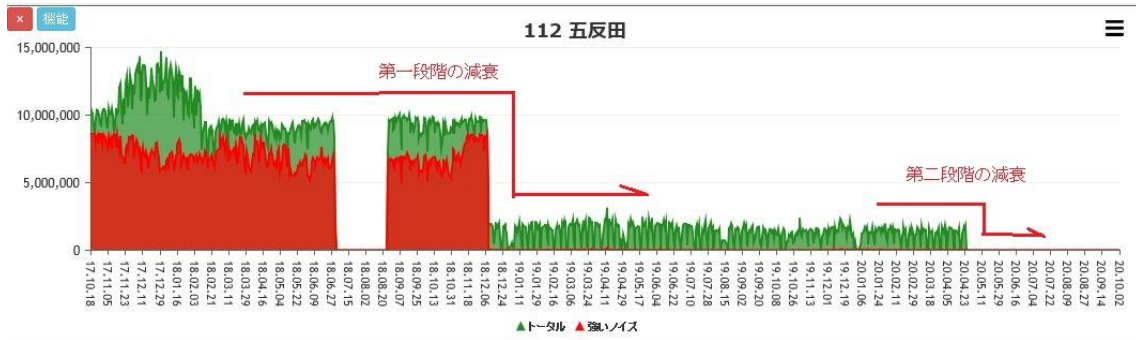
五反田のデータは過去3年以上に渡り大きなデータが続いてきました。しかし途中で第一段階の減衰、第二段階の減衰という2度の落差のある減衰があり、いまは減衰—収束の最終段階に来ています。このような段階的な減衰は過去に大地震につながっており、高知 B339 の高知市介良のデータが段階的に減衰し収束したときに熊本地震 M7.1 が発生しました。

仮に、このデータが全体で大きな地震の予兆であった場合は 熊本地震級の M7 クラスの大地震が発生する可能性があります。

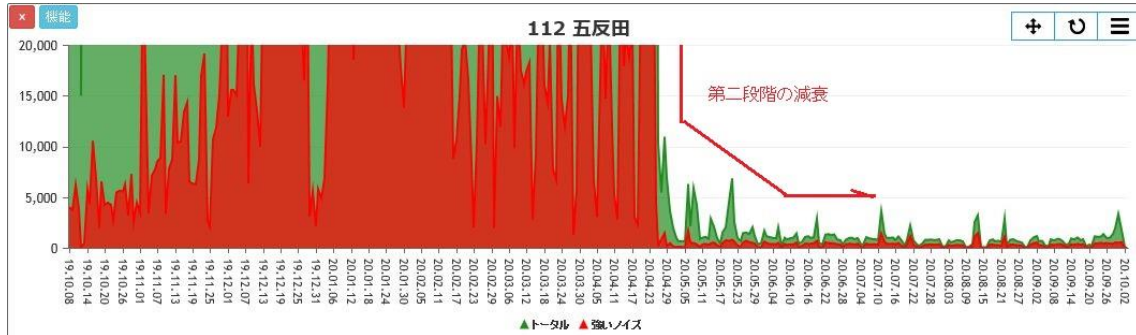
五反田のデータ 過去3年間のデータその1（日毎）



五反田のデータ 過去3年間のデータその2（日毎）



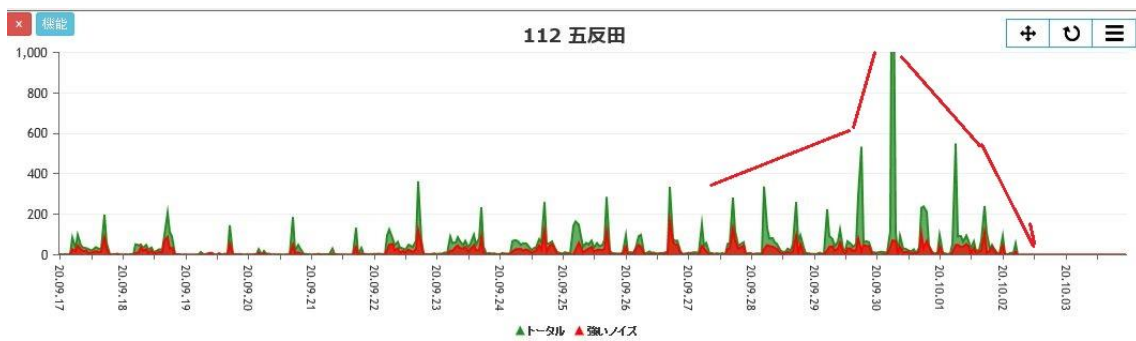
五反田のデータ 360 日データ (日毎)



五反田のデータ 180 日データ (時間毎)



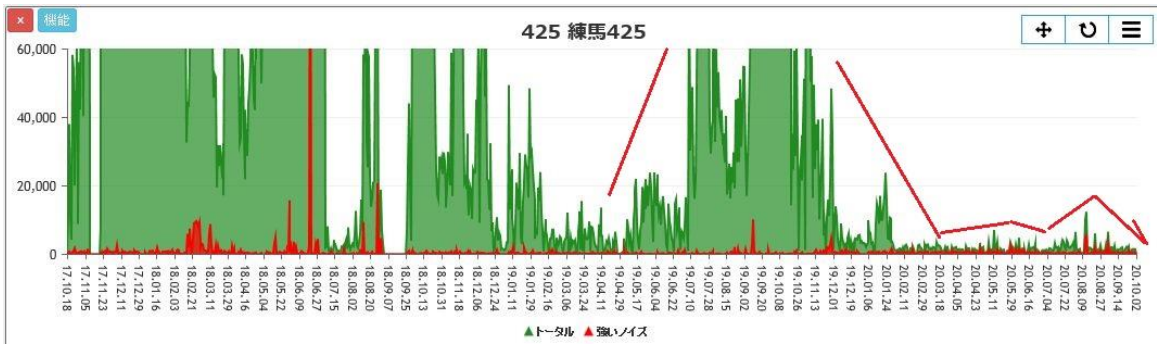
五反田のデータ 15 日データ



② その他の観測点の 1080 日間 (3 年間) のデータ

いずれもこの時期に長期のデータが減衰してきており収束が近いように見えます。

練馬 1080 日 日毎データ



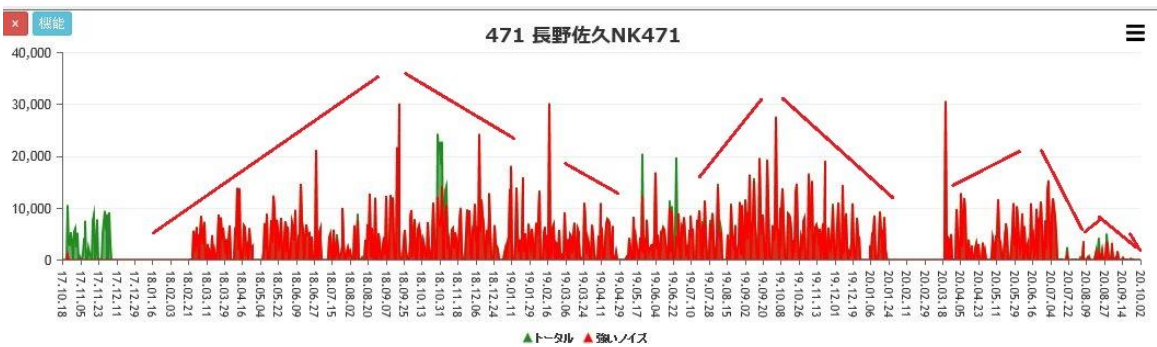
白馬 1080 日日毎データ



白馬 (長野) 15 日データ



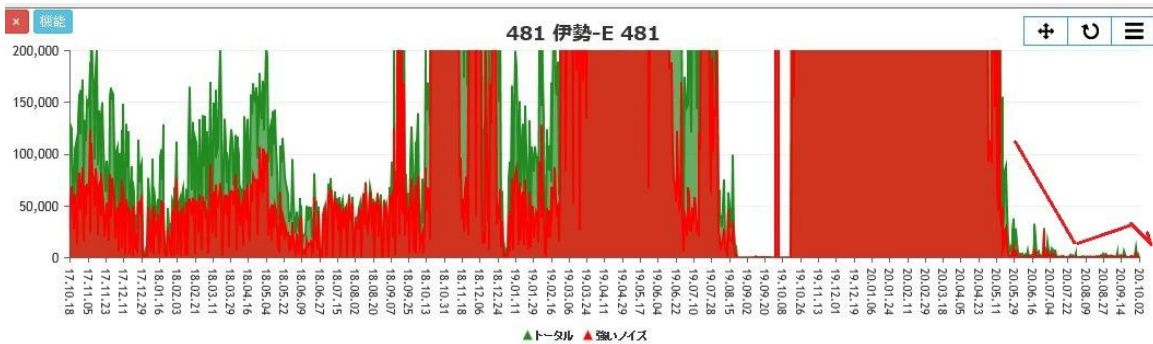
佐久 (長野) 1080 日日毎データ



安曇野 1080 日日毎データ



伊勢（三重）E481 1080 日日毎データ



<まとめ>

以上のようにいままで長期に続いていた関東～中部東海地区のいくつかの観測点のデータがどれも減衰して収束に近づいているように見えます。

これらのデータや宏観現象から 次のような大地震に警戒すべきと考えます。

震源域：関東より西の中部、東海地区

地震の規模：M6 超（M7 クラス）

発生時期：いまの満月トリガーの期間＝10月7日ごろまで